

第27回

うつのみやこども賞だより

平成22年度 第6回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『さすらい猫 ノアの伝説』

重松清／作 杉田比呂美／絵（講談社）



～読んだ本の感想より～

- 学校をわたり歩く「さすらい猫」というのが面白かった。
- ユッコ先生は、みんなの顔や名前を覚えていて、くじけてもまた立ち直り、あきらめずがんばるのはすごいと思いました。
- ノアがやってきて、まわりの人たちが忘れていたものを思い出すところがいいと思いました。
- ノアが大切なことを教えてくれると分かった時、「大切」なこととは何だろうと思いました。
- 三つの合言葉を中心に三人で謎をといっていたのがすごくドキドキした。
- ノアの首についている風呂敷包みを、私も開けたくなった。

- 健太のクラスが忘れていた事を思い出せてほっとした。
- この本は、私にとって、今までの中でもすごく印象強い本でした。

『さとるくんの怪物』 たからしげる／作 （小峰書店）

- 最初のほうは怖かったけど、読んでいくとすごく面白かったしワクワクした。
- 最後にさとるくんが、友達のために願いをかなえてくれるところが感動しました。
- さとるくんはサーベルタイガーとドラゴンだったなんておどろいた。
- 里流が人間じゃなくて「さとるくんの怪物」だったのがおどろいた。
- さとるが人間の男の子「里流」になりすまし、儀式をやったのは誰なのかを見つけるところがおもしろかった。
- とてもヒヤヒヤしてこわかった。

『ヘヴンリープレイス』 濱野京子／作 （ポプラ社）

- 英太や和希、史生や有佳など、森の中で出会った人々がどんどん仲良くなっていく友情がすごかった。
- 和希に英太という心をひらける友達ができてよかった
- 次がどんどん読みたくなる本だった。
- 友達の力ってすごいんだなあと思いました。これからも友達を大切にしていきたいです。
- 英太、史生のためにお母さんに訴える和希の姿がかっこいいと思いました。
- 私も和希のように悩んでいる面もあったので、「うんうん、そうだよね」という気持ちで読めた。

『満月のさじかげん』 桎崎茜／作 （講談社）

- それぞれの人が、ちがった痛みをかかえているけれど、それを乗り越えている様子が心に残った。
- 赤羽さんが元気になってよかったです。
- ふつうの生活の中からも、命の大切さが学べるような話でした。
- 人はだれでも欠けている部分があるということが、この本で学びました。
- 祭は少し空気が読めないと思いました。でも、楽しかったです。

2010年11月13日